

町田市議会議員

渡辺げんたろう



昭和 48 年 町田市玉川学園生まれ 玉川学園在住

玉川中央幼稚園／町田市立第五小／町田市立南大谷中／都立町田高校／

日本大学法学部法律学科卒／新光証券(現みずほ証券)勤務

平成 22 年町田市議会初当選 平成 26 年 2 期目当選 平成 28・29 年度町田市議会災害対策委員長

党利、党略、政局よりも 町田が良くなることを 第一義に！

消防団第一分団第五部部長 / エイサー町田琉 二代目会長 / 消防少年団副団長

1 期目（2010年～2013年）の主な実績

- ◆アメリカ海軍厚木基地・横浜市・川崎市との**災害時応援協定締結を実現**。
- ◆町田市の公共施設の**電気料金を【2億6,400万円／年】削減**しました。
- ◆副作用が多いHPV(子宮頸がん)ワクチンの接種勧奨中止をいち早く提言・実現
- ◆小中学校の教室へのエアコン整備を実現。

2 期目（2014年～2017年）の主な実績

災害に強いまちづくり！

- ◆**都内で最も大きな消防署**を本町田に新設させ、災害対応能力の飛躍的向上を実現。
- ◆救急出動要請の多い中心市街地付近には、新たな出張所の配置検討を進めています。
- ◆災害時に不可欠な防災行政無線の不感地帯解消に向けて、全機種の入替えを実現。
- ◆ストーマ(人工肛門)装具の災害備蓄を実現。
- ◆大規模災害時における自衛隊との連携を強化。
- ◆危機管理体制拡充に向けた市の組織改変を求め続けた結果、「町田市市民部防災安全課」が**「町田市防災部」へ格上げ**されました。

暮らしやすい玉川学園のために！

- ◆玉川学園コミュニティセンターの建て替えを促進しました。
- ◆「誰もが参加できる」「玉川学園ならではの」をコンセプトに、「玉川学園ふるさと計画」として夏祭りで**「ベートーベン第九の合奏・合唱」を企画・実施**。
- ◆2020年までの改良が国から義務づけられた**玉川学園正門前踏切**(鶴川5号踏切)について、町田市が活用すべき国の補助金を提示し、改良に向けて大きく前進させました。

誇りや愛着を醸成するまちづくり！

- ◆2018年の町田市制60周年、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックをバラバラに考えるのではなく、**3カ年の大きなムーブメントを**創るよう提言し、『まちだ〇（まる）ごと大作戦18-20』の実施が決定しました。
- ◆1936年から80年間も続く玉川学園のベートーベン第九を、東京2020オリンピック・パラリンピックを機に町田の文化芸術資源としてとらえ、世界へ発信することを提言し、現在、市内で様々な形での合奏・合唱が企画されています。
- ◆日本の国際的地位向上のため、一地方自治体である町田市ができる国際貢献について提言し、実現に向けて前進中です。

子育て、健康、賑わい、福祉…様々な観点で住みよいまちづくりを進めています！

- ◆在宅子育て支援を提言し、『**マイ保育園**』**制度導入**を促進。
- ◆市民病院について、ガン放射線治療や救急救命の必要性を主張し続けた結果、専門家による検討委員会が設置されました。
- ◆中心市街地の活性化に向けて、都市再生特別措置法に基づく道路占用許可の特例制度活用を提言し、現在検討が進められています。
- ◆**通学路への防犯カメラ設置**を実現。
- ◆ふるさと納税の魅力向上のため、返礼品に人間ドックや健康診断等を加える創意工夫を求め、制度を大きく前進させました。

◆**生活保護の不正受給防止を強く求める！**

生活保護制度の健全性維持のため、不正受給は決して許されない。

また、最高裁判所の判決においても、生活保護制度は本来日本人にしか認められていない。しかし現実には、町田市における外国人の生活保護は、日本人の2倍の受給率となっている。生活保護申請時に外国人の外国における資産を調査するよう、町田市に強く求めました。

その他、多方面にわたり全力で邁進しています！
日々の活動はブログで配信していますので、ぜひご覧ください。
(「渡辺げんたろうブログ」で検索！)